

— 目 次 —

特 集

地域開発(県計画)の指標

- 夢ふくらむ熊本広域都市圏……12
- 文学・熊本とその周辺……35
 - 1. 有明海ののり養殖……16
 - 2. 河内、小天のみかん……26

新 春 雑 感

伊藤 直臣・坂井 隆治・森本 忠
河瀬 澄・林 明任・橋田 さかえ

<ここに人あり>

駆ける青年住職 三坂恵人さん……25

年頭座談会

ことしの県政展望

村田 季敏・河 端 脩・白石 正夫
<司会> 大井 健司

★グラビアページ★

若者のうたごえ/ここに泉あり
特 集/
新産業風土記/海路口ののり養殖

表紙<熊本国際民芸館>

大津街道入口の右手近くにあるこの民芸館は、まさしく土蔵づくりの建物。一歩中に入ると日本各地の珍しい民芸品はもとより、西欧の生活様式がにじみ出た民芸品が丹念に蒐集されている。

センターカラー<熊本空港>

熊本市の郊外。健軍飛行場と呼ばれたこの空港は、現在、東京・大阪・長崎方面に往復5便が就航し利用者も年々増加している。今日も、冬空にフレンドシップの軽い金属音がひびきわたる。



上・発表会を前にして、きびしいが、しかし和やかな練習の日が続く

下・ハーモニーよろしく今日はみんなでハイキングへ。そして、ついはずむコーラス。



下・看護施設や老人ホームを訪ねて……アンコールの拍手が湧く。恒例の楽しい行事となった。



若人の合唱

熊本市民合唱団

熊本市民合唱団「ユージェント・コール」。団員は六〇余名。その年齢層は一〇代から四〇代までと幅広く、各人の職種もサラリーマンあり学生ありとそれぞれ異なるが、みんな歌うことの好きな仲間同志だ。毎週月曜と木曜の夜七時から九時までの二時間、熊本坪井教会で練習する歌う仲間の周辺には、若々しさとヴァイタリテイが溢れている。

合唱では、一人の不協和が全体のハーモニーを狂わせてしまう。それだけに合唱という土壌に育まれた仲間達の心のつながりは日常の生活を通じても緊密なものがある。団員同志の結婚も一四〜五組を数える。被露宴では団員の合唱が新しい人生の門出を祝福する。

創立以来約一六年。地道に続けられる練習を通じ、年一回の発表会や、他の団体との合同音楽会は恒例となっている。

又、毎年春夏二回のレクリエーション、その他の日常活動を通じ、歌う仲間の結び付きは、ますます固い。「音の和が人の和を生み、同時に、人の和が音の和を生んでいく」まさにユージェント・コールのモットーのとおり。